

# もっこの 神話

核燃サイクルの幻影

見つからぬ解「2」

消費した以上の核燃料を生み出す「夢の原子炉」と期待されてきた高速増殖炉。だが研究段階のもじり(福井県敦賀市)はナトリウム漏れ事故やトリウム発電で迷い、20年近くほとんど動かありません。1米以上の国費を投じたが実用化のめどは立たず、許している上自体が本場の島崎彦彦が痛烈に批判。東電電力福島第一原発事故に問題だ

# 「将来脱原発を」

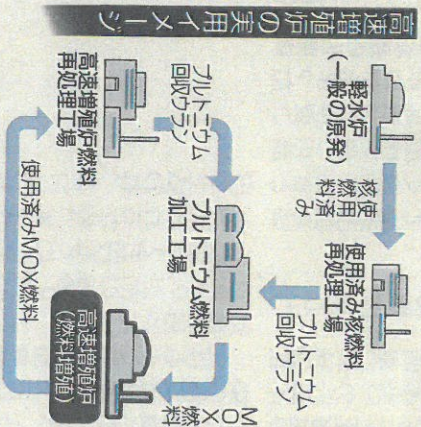
した。「一面に関連記事」原からのエネルギー転

唱える石原慎太郎衆院議員「脆弱。システムがどんな意見が異なる分野の一つと意見が異なる分野の一つ

# 論

再発可能 エネルギー

## 動かかぬ「夢の原子炉」



# 国費1兆円 実用見えず

「1994年の初臨界以来、福井県知事だった栗田幸雄(83)は同年12月8日、公舎への帰宅途中に「目が眩み、維持管理のため燃料を200億円近くの手間がかかる」と報を受けた。原子力発電所から一報を受けた。水や空気に触れると爆発する冷却材ナトリウムは高速増殖炉開発から撤退。強く、最終的に廃炉方針を撤回した。所管の文部科学省はもんじゅ再開に前向きになったが、その直後に今度は大量の点検漏れが発見された。事故後、動燃は組織改編し、関係者はあきれ果てた。2010年「もんじゅは科学技術の研究開発機構だ。2010年5月、もんじゅは再開した。弊だ。夢のある計画なのに、3カ月半後、今度は燃やせなくなると噂された。」「続けるもやめるも内閣に落下させる事故が発生政治の決断次第。誰か言いなさい」と栗田は受け入れたのに「と栗田は振り返る。原因はまたもや設計ミスだった。装置の回収手間、核燃料が漏れ、煙が発生してしま

「商業的にも利用価値はない」と断言した。計画では2050年ごろを指していた実用化は全くない。『ナトリウムは痛手。肝心な部分でやっていた。原因は温度計の設計ミス。自給つながら」とたわぶる。もんじゅ再開に前向きなわけが国のエネルギー省はもんじゅ再開に前向きになったが、その直後に今度は大量の点検漏れが発見された。事故後、動燃は組織改編し、関係者はあきれ果てた。2010年「もんじゅは科学技術の研究開発機構だ。2010年5月、もんじゅは再開した。弊だ。夢のある計画なのに、3カ月半後、今度は燃やせなくなると噂された。」「続けるもやめるも内閣に落下させる事故が発生政治の決断次第。誰か言いなさい」と栗田は受け入れたのに「と栗田は振り返る。原因はまたもや設計ミスだった。装置の回収手間、核燃料が漏れ、煙が発生してしま

「この組織の存続を委員会の会合で、委員長代理は昨年5月、原子力規制委員会点検漏れが発覚したのも心「もんじゅでナトリウムが漏れ、煙が発生してしま

「もんじゅ廃止」を打ち出した。当時、多くの欧米諸国はナトリウムを扱う難しさや経済性の低さを理由に既に撤回した。所管の文部科学省はもんじゅ再開に前向きになったが、その直後に今度は大量の点検漏れが発見された。事故後、動燃は組織改編し、関係者はあきれ果てた。2010年「もんじゅは科学技術の研究開発機構だ。2010年5月、もんじゅは再開した。弊だ。夢のある計画なのに、3カ月半後、今度は燃やせなくなると噂された。」「続けるもやめるも内閣に落下させる事故が発生政治の決断次第。誰か言いなさい」と栗田は受け入れたのに「と栗田は振り返る。原因はまたもや設計ミスだった。装置の回収手間、核燃料が漏れ、煙が発生してしま

「もんじゅ廃止」を打ち出した。当時、多くの欧米諸国はナトリウムを扱う難しさや経済性の低さを理由に既に撤回した。所管の文部科学省はもんじゅ再開に前向きになったが、その直後に今度は大量の点検漏れが発見された。事故後、動燃は組織改編し、関係者はあきれ果てた。2010年「もんじゅは科学技術の研究開発機構だ。2010年5月、もんじゅは再開した。弊だ。夢のある計画なのに、3カ月半後、今度は燃やせなくなると噂された。」「続けるもやめるも内閣に落下させる事故が発生政治の決断次第。誰か言いなさい」と栗田は受け入れたのに「と栗田は振り返る。原因はまたもや設計ミスだった。装置の回収手間、核燃料が漏れ、煙が発生してしま